

市内全域の市立小中学校の適正規模・適正配置などの検討を開始

三好小学校と野上小学校の統合を推進

市教育委員会では、野上地区町会およびPTAからの「野上小学校早期統合について」の要望書の提出を受け、その取り扱いを審議した結果、来年4月を目途に三好小との統合を推進することに決定しました。

地域での話し合いで統合推進

市教育委員会では、平成24年度から市全域の小中学校の適正規模・適正配置について検討を開始するのに先立ち、今年2月に複式学級を持つ学校の地域を対象として、地区懇談会を開催しました。その中では、小中学校の現状や児童生徒数の推移、小規模校・大規模校のメリット・デメリットなどについて説明し、地域の皆さんからの意見を伺いました。

野上地区の場合

野上地区では地区懇談会の後、町会やPTAを中心として野上小の在り方についての協議が重ねられた結果、野上小の統合についての署名活動が行われ、野上地区町会長連絡協議会長と野上小学校PTA会長の連名により、842名の地域住民の賛成署名を添えて教育委



野上小学校

員会に来年度から学校統合を実現するよう要望書が提出されました。

教育委員会では、地域の切実な声を重く受け止め、来年4月を目指して三好小と野上小の統合を推進することになりました。

三好小・野上小統合に向けた今後の対応

学校統合は、市議会の議決を経て正式に決定されますが、三好小・野上小児童の事前交流活動を積極的に取り入れ、両校児童の一体感を高めるなどの対応をします。

また、統合を円滑に進めるため、PTAや地域代表者などをメンバーとした準備委員会を設置し、学校運営や教育計画、設備用品の調整などについて協議を進めていきます。

予定では、平成25年3月末で野上小学校を廃校とし、三好小学校に統合します。



三好小学校

■問合せ 教育総務課
☎(61)1171

三好小・野上小の統合前⇔統合後の児童数・学級数

○三好小（平成25年4月1日見込み）

学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	17	19	21	19	24	17	117
学級数	1	1	1	1	1	1	6

○野上小（平成25年4月1日見込み）

学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	2	2	5		4	6	19
学級数		1	1			1	3

○統合後の児童数・学級数（平成25年4月1日見込み）

学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	19	21	26	19	28	23	136
学級数	1	1	1	1	1	1	6

野上小は、現在完全複式学級を実施。一部の児童はすでにスクールバスで通学しています。

野上小と三好小は県道作原上町線で約6キロの距離にあります。

三好小PTA会長 内田研二さん

三好小は、1学年あたり20名程度で安定していますが、将来的には児童数が減少していくと思われます。三好小としては、野上小と一緒に児童数が増え、更に活気のある学校になることは喜ばしいことと捉えています。

野上小の在校生、卒業生、地域そして教職員の方々にとっては、学び舎がなくなり、思いは複雑かと存じます。私の任期中は統合の準備になりますが、児童のことをいちばんに考え、十分な議論を重ね、野上小児童を暖かく迎え入れられるよう努めたいと思います。

三好地区町会長会・亀田竹芳さん（戸室町）

今後、統合に伴い克服すべき事項も多々あるかと思いますが、野上・三好地区は、野上川の源流を共有する兄弟関係であり、全く心配しておりません。野上地区の住民の方々の大いなる決断に対して、心より敬意を表し、三好4地区（戸室、岩崎、船越南、船越北）を代表しまして、積極的に受け入れに協力してまいります。

野上小PTA会長 松島義明さん

野上小は、先生方が一生懸命努力され、スポーツや音楽などで素晴らしい成績を残しています。

しかし、今の人数では集団での学習や運動などで制約が多く、子どもたちのことを考えると、一日も早い統合を望んでいます。

地域に学校がなくなるのはさびしい面もありますが、子どもたちにとってよりよい環境で、多くの友だちとともに勉強や運動ができればと思います。

野上地区町会長会・森下憲一さん（長谷場町）

地域にとって、学校というシンボルがなくなるのは、やはりさびしい思いです。しかし、子どもたちが成長していくうえで、互いに切磋琢磨し合う機会をより多く与えたいという保護者の気持ちを思いやり、地域の8割以上の賛同を得て、三好小との統合を要望いたしました。

野上小の子どもたちは、やさしく、そして一生懸命頑張っています。三好地区の皆さん、よろしくお願いいたします。

市全域での適正規模・適正配置について 検討委員会を設置して検討を開始しました

市教育委員会では、市内全域の市立小中学校の適正規模・適正配置などを検討するため「佐野市立小中学校適正配置等検討委員会」を設置し、8月3日に第1回の検討委員会を開き、検討を開始しました。

検討委員会では、学識経験者や市民公募委員2名を含む20名の委員が委嘱され、委員長に酒井一博さん（宇都宮大学教育学部教授）、副委員長に津布久捨三郎さん（元佐野市教育委員長）が選任され、寺岡教育委員長から酒井検討委員会委員長に諮問書が手渡されました。

今後、小中学校の規模及び配置の適正化に関する事項について、次のような内容を検討していきます。

- 1 標準規模を下回ることによる教育上の課題の整理・克服
- 2 佐野市としての小中学校の標準規模の模索
- 3 通学距離、通学時間及び通学時間による子どもへの影響
- 4 小中一貫教育と適正配置等の関連
- 5 その他必要な事項



計画では来年3月までに市教育委員会へ検討結果を提出し、教育委員会ではそれらを十分に踏まえ小中学校の適正規模・適正配置について方針を決定していく予定です。